鳥海朝日・飯豊吾妻緑の回廊(土湯の森)自然再生実施協議会 - 自然再生に向けた実施計画を協議 -

山形県戸沢村高屋にある旧最上川スキー場跡地の自然再生に向けて、検討会を立ち上げ「基本構想」を昨年度取りまとめたところです。

この「基本構想」を踏まえ、具体的な取組方法や、その取組の状況についてモニタリングした結果を検討するための鳥海朝日・飯豊吾妻緑の回廊(土湯の)自然再生実施協議会が5月30日に発足しました。

この協議会は、これまでの検討会の委員に地元の教育関係機関や自然の中を案内することに携わっている方3人を加えた11人の委員により構成されています。

協議会の開催にあたり、石井計画部長から「自然再生のための実施体制を作っていくとともに、計画的に再生を進めていくためのご意見をいただきたい」との挨拶がありました。 続いて『実施計画』について事務局から説明があり、意見交換が行われました。

この『実施計画』では、「森林再生 ゾーン」内でブナ等の植栽や刈り払い など人為を加えて植生の回復を手助け することや、その取組の状況をモニタ リングしながら、この区域に適した方 法を試行錯誤していくこととしてい ます。

今年度は、自然再生の主な取組として、刈り払いのほか、来年度の植栽に向けた山取苗の仮植やモニタリングなどが予定されているところです。

なお、自然再生の取組を実施するまでには、参加者の募集方法などを含め、 さらに検討しなければならない課題も あります。

このため、引き続き協議会委員等の協力を得ながら、地域の子供たちや地域住民を含めたボランティアなど、多くの方に参加いただける取組となるように努めていくこととしています。

